

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連	良くなる	乗用車販売店（従業員）	・3月が決算期であることに加え、補助金の話も出ているので、景気は良くなる予想する。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・商店街内の空き店舗で開店の準備が進んでいる店が何軒かある。暖かくなるにつれて、消費マインドも上昇するのではないかと予想する。	
		百貨店（営業担当）	・東日本大震災から1年経つことから、企業活動に期待ができる。	
		衣料品専門店（副店長）	・客の購買意欲と店頭商品のタイミングがうまく合えば、今より良くなると予想する。	
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー補助金が12月20日登録分より適用される見込みであることから、新車の販売台数が今後伸びると予想する。	
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー減税の延長とエコカー補助金が復活することから、販売が伸びることを期待する。	
		乗用車販売店（営業担当）	・エコカー補助金が確定したので良くなるはずである。	
		乗用車販売店（役員）	・3か月後は減税等の効果も出て、市場が盛り上がり予想する。	
		通信会社（支店長）	・新商品の販売やサービスを拡大する。	
		美容室（経営者）	・卒業シーズンなので来客数が増えると期待する。	
		設計事務所（職員）	・公共事業の業務量が増加したため、今年度末から来年度当初にかけて、売上が増加するものと見込まれる。	
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税などで、今のうちに家を建てようとする人が増えてくると予想される。	
		変わらない	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・年末のかき入れ時期も忘年会の数が減少したせいか売上が伸びなかった。街の反応、消費者の反応も悪い。
			百貨店（営業担当）	・売上高は、リビングの催事が不調だったことから、前年割れとなった。歳暮商戦も前年をやや下回り、食品も苦戦した。
スーパー（店長）	・日常生活は節約し、ハレの日に大きく消費する傾向が継続すると思われる。			
スーパー（店長）	・景気に特に期待できるような要素が見当たらず、この状況は変わらないと予想。			
スーパー（企画担当）	・2011年と同様に、小型店舗の状況に回復が見込めそうにない。その分を大型店でカバーしきれず、状況は好転しそうにない。			
スーパー（財務担当）	・気候変動が大きければ売上に影響するが、現状維持であれば小さい。			
スーパー（企画・営業担当）	・東日本大震災から約1年経ち、平常を取り戻しつつあるが、社会全体の閉塞感や将来への不安などから消費行動が好転するとは考えにくい。			
スーパー（統括担当）	・このところ客単価は変化がなく、今後も続く予想される。			
コンビニ（総務）	・消費喚起するような大きな景気対策がない限り、特に地方の景気は回復できない。			
家電量販店（店長）	・新生活関連需要も昨年度とは変わらない需要予測となっているが、昨年家電エコポイント制度終了に伴う駆け込み需要の反動減も予想されることから現状と変わらない。			
家電量販店（店員）	・新生活準備で例年販売が増える時期なので、今期と同程度で推移すると予想する。			
家電量販店（営業担当）	・来客数が減少していることに加え、客単価が下がっている。来客数が多少回復しても、売上増には結び付かない。			
観光型旅館（経営者）	・予約状況は昨年と比べて、国内旅行はそれ程増えておらず、また、外国人の日本への入込も減っていることから、今の状態がしばらく続く予想する。			
都市型ホテル（経営者）	・予約状況を見ると、決して楽観視は出来ないが、財布のひもがやや緩み、個人消費が上向きつつある。レストラン利用、もしくは宴会利用などといったものが伸びてくるのではないかと予想し、景気は今より悪くはないと推測する。			
通信会社（営業担当）	・例年同様、新入学、新生活の顧客獲得に知恵を振り絞り、いろいろな施策を展開する予定である。携帯市場が飽和状態の中、スマートフォンを中心にキャリア変更が更に進む可能性があり、これらに連動して販売数が伸びることを期待する。			
観光名所（職員）	・来場者数が落ち着いてきている。			
ゴルフ場（従業員）	・予約状況的には、週末は埋まっており良いが、全体的に考えると、変化がないような感じである。			
設計事務所（所長）	・公共事業以外に新築の建物があまり建っていない。			

やや悪くなる	商店街（代表者）	・最近オ - プンした四国最大の大型店の集客力や他地域に対するマイナスの波及はまだほとんど表れていない。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末でも高額商品があまり動かなかったので、年明けも期待できない。
	一般小売店〔乾物〕（店員）	・大型店の影響で、お正月以降は、非常に厳しくなると思う。
	衣料品専門店（経営者）	・県下最大のショッピングセンターができ、特に婦人用品に関して強烈な打撃を受けている。紳士用品は、平日はある程度戻ってきているが、土日や祝日については、3か月から半年くらいは、落ち込むのではないかと予想している。
	衣料品専門店（総務担当）	・気温の低下が進み、重衣料の動きが良くなっている為、セール売上の伸びを期待しているが、ここ数年初売りの効果が徐々に小さくなってきている。景気が良くなる気配がない現状からは大きく改善する見込みは薄いと考えている。
	住関連専門店（経営者）	・販売量が伸びていない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・今は1年で一番よく売れている。しかし2～3か月先は、だんだんと売れなくなって、かなり悪くなることが予想される。
	旅行代理店（支店長）	・円高による企業の景気減退やタイの洪水による影響等で旅行需要に悪い影響が及ぶ心配がある。
	通信会社（企画）	・地上デジタル放送移行に伴う需要も一巡し、回復する要因が無い。ここ数か月は減退傾向が続くことが予想される。
	競艇場（職員）	・正月レースがあることから一時的に売上増となるが、12月は好調だったとはいえ前年比6%減であること、また本場開催のビッグレース単体で前年比38%減、場外発売のビッグレース単体では前年比10%減に終わったことから、今後の見通しは依然厳しい状態が続くのではないかと考えている。
美容室（経営者）	・景気回復の兆しが全く見えてこない。	
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・消費税増税が検討されているため悪くなる。
	タクシー運転手	・1年を通して売上は、12月が一番良いから、2～3か月先は悪い。昨年を振り返ってみると、自転車や、路面電車など公共交通機関を利用する人が多い。以前のようにタクシー、ハイヤーは使用していない。
	タクシー運転手	・例年、1月と2月は12月より悪い。1月は正月休みがあり、2月は稼働日数が少ない。どこまで悪いのを抑えられるかだが、年末の状況をみていると期待できない。3月に入ると四国八十八箇所巡りの遍路客が入ってくるので、多少上向くと思う。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
変わらない	木材木製品製造業（経営者）	・良くなる要素も無く、悪くなる要素も無い。
	電気機械器具製造業（経理担当）	・第4四半期の販売は回復すると見込んでいたが、依然として低調である。欧州需要の悪化を始めとして、米国も振るわず、海外市場の販売量が伸びない。さらなる円高が予想され、価格にも影響が出ており、厳しい状況が続いている。
	建設業（経営者）	・東日本大震災関連の工事があるかもしれないが、あまり期待できない。
	輸送業（経営者）	・消費税、年金など未確定部分が早期決着すれば、良くなると思う。
	通信業（部長）	・スマートフォン秋冬モデルも発売され新規需要の開拓を進めているが、法人企業の反応は従前と変わらない。
	不動産業（経営者）	・住宅地、居住用の建物等は、動きが止まっている。収益用物件や事業用物件に関してオファーが増えてきているものの、先行きは不透明。
	広告代理店（経営者）	・同業他社の倒産等による新規得意先からの販促受注や、全国ネットの得意先の受注増加は見込めるが、地方の景況感依然として厳しく、多くの地元得意先は広告費の削減が続くであろう。
	食料品製造業（商品統括）	・冷凍食品は、40～50%引きが恒常化しているにもかかわらず、売上が伸び悩んでいる。
やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・小売店の店頭売上が減少している。
	鉄鋼業（総務部長）	・受注に先が見えていない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・7月1日に施行される再生可能エネルギー特別措置法が関係しているだろうが、産業用の太陽光発電設備は停滞している。
	建設業（総務担当）	・来期計画を立案中であるが、受注量はほぼ前年並みに確保できるものの、収益のめどがつかず、赤字になる見込みである。

		輸送業（営業）	・景気低迷による消費の伸び悩みが物流に顕著に現れており、年明け後も国内景気の不透明さは払拭できず、減速懸念が強まる一方である。来年度以降に期待される東日本大震災の復興需要とそれに伴う政策による景気押し上げを期待するが、西日本ではその恩恵が小さいと思われる。
		金融業（融資担当）	・円高や石油価格の高止まり等から、消費が低迷している。県内建設業者に国税局の調査が入ったことも建設業界の冷え込みに拍車をかけることになると判断する。
		公認会計士	・今年は土地の価格が下落するのではないかと。いわゆる信用収縮の問題と、金融円滑化法の期限が3月末なので、銀行への返済が始まることから、将来に不安を感じているという話を聞く。景気は若干、悪化すると予想している。
	悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） 輸送業（支店長）	・新商品の認知度がアップしたが、季節要因では、かなり落ち込むと思うので、悪くなると予想する。 ・燃料単価高騰によるコスト増に対して、荷主のコストダウン要請が更に激化している。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・今年度の営業戦略による人員確保によって求人数は増加すると考えるが、求職者とのマッチングが困難である現状も留意しておきたい。ミスマッチを起こさない手順を整えば、労働人口が改善されると考える。
		人材派遣会社（営業部長）	・派遣法改正案から登録型派遣や製造業派遣の禁止が除外されたことで、派遣に対するネガティブマインドが緩和されることを期待している。
		人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向けての需要を期待したい。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・卒業、入学シーズンを前に求人数の増加が見込める。
		職業安定所（職員）	・新規求職者数は減少を続けているが、就職者数に変動が無く、無就業者である有効求職者数は減り続けている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・好調に転じたと思われるカーディーラーにしても、費用対効果には厳しく広告出稿は慎重になっている。
		職業安定所（職員）	・年末及び新規開店の店からの求人が落ち着いている。今後の経済情勢次第で変動する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・年末年始は企業に採用活動の動きはない。次年度向けの求人は12月の解禁以降増えてきているが、2か月遅れたため、例年に比べるとまだまだの感がある。
	やや悪くなる	求人情報誌（営業）	・引き続き先行き不透明感があり、特に製造業の多い当県では、各業種とも工場の稼働状況が低いまま、求人状況の改善もみられず、景気は少し悪くなると思われる。
民間職業紹介機関（所長）		・今冬の賞与は減額、又は出ないという企業も多く、来年に向けても高揚感が感じられない。ただし、業種間格差があり、まだまだ人手不足であるという企業も数には少ないが見受けられる。	
	悪くなる	-	-